

## リニアバレー構想

- 平成28年2月に、長野県及び伊那谷の各自治体で構成する「リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議」において、リニア開通に向けた地域づくりの指針として「リニアバレー構想」を策定しました。
- 今後は、具体的な取組や事業(プロジェクト)についての検討を進め、同構想の実現を目指します。

### <構想概要>

1

国際空港へ1時間でアクセスするグローバル活動拠点 ～世界とつながる～

グローバル産業や研究開発機関、航空産業クラスター、メディカルバイオクラスターといった新たな時代の産業の集積と次世代産業の創出を進めます。

2

巨大災害時のバックアップと食料・エネルギーの新しい供給拠点 ～日本を支える～

首都圏と中京圏の中間に位置し、リニアを活かした時間短縮効果を最大限発揮できる地の利をいかすことで、首都機能や企業の中核機能のバックアップを果たします。

3

高度な都市空間と大自然とが近接した「対流促進圏域」 ～ここで豊かに暮らす～

都市圏への通勤や二地域居住、週末農業など新たなライフスタイルを提案するとともに、豊かにくらすための地域づくりや魅力ある自然環境の保全と景観の形成を進めます。

4

世界から人を呼び込む感動フィールド ～ここでふれあう～

インバウンドも含めた広域観光の促進により交流人口を拡大させるため、美しい信州の原風景や文化を活かした広域観光ルートづくりや体験型観光の促進を図ります。

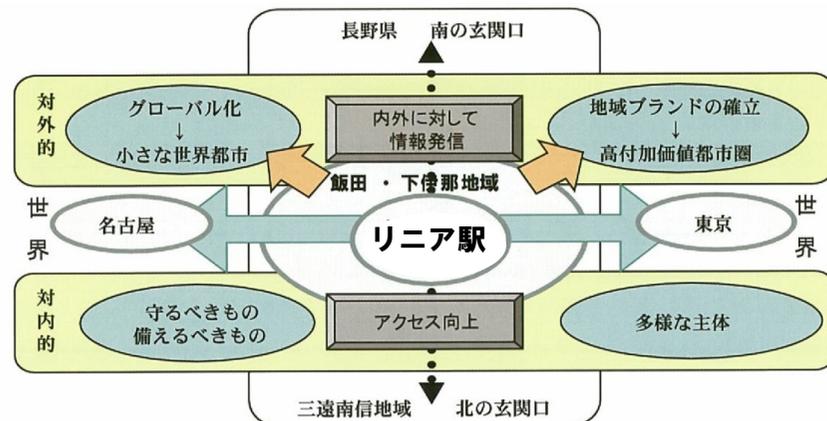
出典：リニア中央新幹線整備を地域振興に活かす伊那谷自治体会議「リニアバレー構想」（H28.2月）

## リニア将来ビジョン、基本構想・基本計画

- 平成22年、南信州広域連合はリニア中央新幹線開業後の地域づくりの基本指針として「リニア将来ビジョン」を取りまとめ、同ビジョンが目指す地域像をより具体化し、取り組みを進めるため平成27年3月に「基本構想・基本計画」を策定しました。

### (1) 地域像

将来の地域像として、対外的には「小さな世界都市」「多機能高付加価値都市圏」の構築を掲げ、地域内には「守るべきもの」「備えるべきもの」を明らかにし、「多様な主体」が取り組むことの必要性を示しています。



出典：南信州広域連合「リニア将来ビジョン～リニア中央新幹線リニア駅を見据えたまちづくり～」(H22.11月)

### (2) 南信州地域の資源や機能、可能性を踏まえ

た施策の方向性

#### 1. 多地域居住の推進による地域づくり

【Multihabitation Valley】(多地域居住)

#### 2. 芸術・文化、教育を活かした地域づくり

【Art,Culture&Education Valley】(芸術・文化、教育)

#### 3. スポーツと保健・健康の促進に着目した地域づくり

【Sports&Health Valley】(運動、健康)

#### 4. 新たな産業の振興や誘致による地域づくり

【Green ICT+R&D Valley】  
(自然環境を活かした情報通信事業、研究開発機能)

#### 5. 新たな機能の創出による地域づくり

【Training&Convention Valley】(研修、会議)

#### 研究開発機能の拠点施設

製品の高度化や研究開発を支援する機能の拠点となる施設の整備

#### 高等教育機関

国内に形成される知の集積(ナレッジ・リンク)の一翼を担うことが出来る新たな高等教育機関を設置

#### コンベンションセンター

国内外から様々な会議を誘致し、多角的な交流ができる会議施設の整備

#### スポーツ施設

国際的大会を招致でき、一流アスリート等が集う合宿地にふさわしいスポーツ施設の整備

出典：南信州広域連合「基本構想・基本計画(第4次広域計画)」より抜粋(H27.3月)

# リニアを活かしたまちづくりの展開

飯田市は、リニア開業により、長野県の南の玄関口として世界とつながります。

リニアの整備効果を広く波及させるため、既存ストックを最大限に活かしながら、「当地域に息づく文化・歴史・自然」と「高度な都市空間」との対流を促進する「田園型の学術研究都市づくり」を進め、知の創発拠点をつなぐナレッジリンクの一翼を担うまちを目指します。

〈リニア時代に望まれる広域的なインフラ〉

- ・研究開発機能の拠点施設
- ・高等教育機関
- ・コンベンションセンター
- ・スポーツ施設

〔南信州広域連合「第4次広域計画」より〕

## 【中心拠点】歴史・文化を活かした交流・産業・居住のステージ

かつて信州一の商都であった歴史や、りんご並木・人形劇・城下町が育んだ『美しきまち飯田』の品格を磨きあげること、「求心力」や「中心性」を高め、未来へとつなげていきます。

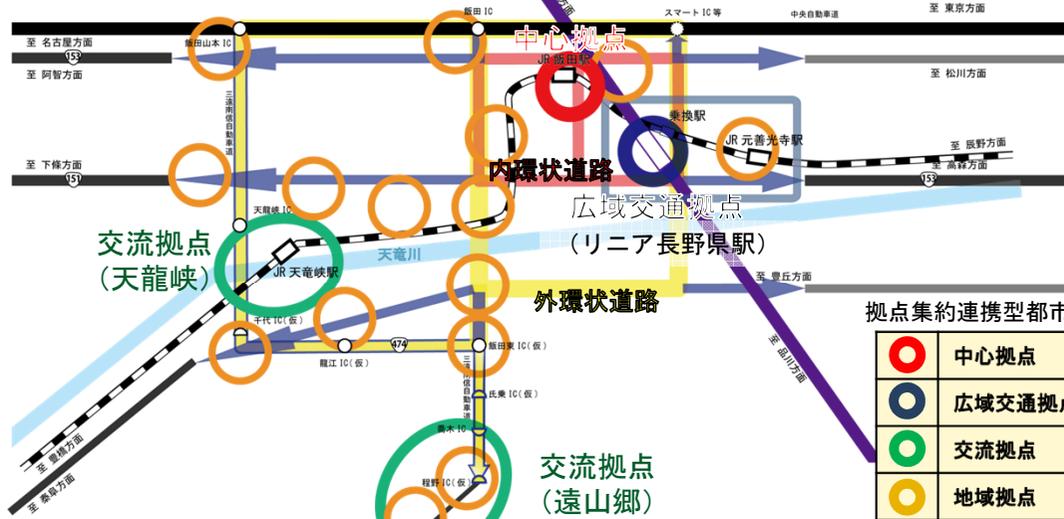
<b>人形劇の世界都市づくり</b> 国内最大級人形劇の祭典 各種イベント(公民連携) 緑のネットワーク・オープンスペースの創出 中央公園と桜並木 ランドスケープ <b>利便性・暮らしやすさの追求</b> マンション整備(公民)	<b>まちなかMICE</b> ホテル・国際会議機能 民家再生 <b>業務機能の集積・誘導</b> 「学輪IIIDA」 飯田大学連携会議 「21世紀型の新しいアカデミーの機能や場をつくる」
--	--

交通による結節

## 【広域交通拠点周辺】交流・定住・学術研究エリアの創出

様々な「知」が集積する産業振興の拠点として、ナレッジリンクの一翼を担います。世界とつながる玄関口にふさわしい、歴史と文化に育まれた環境・景観づくりに取り組みます。

<b>新たな産業振興の拠点</b> JAXA 信州大学 ・航空宇宙産業クラスター形成特区 ・研究開発事業の拠点施設 ・信州大学航空機システム共同研究講座	<b>低炭素な暮らし創造</b> ・職・農・住近接 ・田園に囲まれた暮らし 環境配慮型住宅 ゼロエネルギーハウスの推進(公民) ZEB (ネット・ゼロ・エネルギービル) ZEH (ネット・ゼロ・エネルギーハウス)
<b>二千年浪漫の郷</b> 恒川官衙遺跡(国史跡) (史跡公園イメージ) 飯田古墳群(国史跡)	麻績の里



	中心拠点
	広域交通拠点
	交流拠点
	地域拠点

## 【交流拠点】名勝天龍峡の再生・遠山郷の魅力発信

地域の様々な資源・資産を生かして人を呼び込み、交流を活かします。美しい自然と人の営みとの調和をベースとした魅力を発信していきます。

<b>新たな観光施設の創造</b> 天龍峡大橋 歩廊整備(国土交通省/飯田市) 天龍峡温泉交流館建設(飯田市)2016年開設予定 ココロファーム ビレッジ(農家レストラン)	<b>自然の美・民俗芸能</b> 日本のチロル「下栗の里」 南アルプス145311コパーク(徳島県神山町) 霜月まつり 湯立神楽
---	---

## 【地域拠点】地域オリジナリティの追求 田園回帰を目指して

各地域の中で、連続と受け継がれてきた伝統や文化、固有の景観を資産と捉え、結いの精神とおもてなしの心で人・もの・情報を迎え入れ、さらに豊かで個性ある地域を育みます。

<b>田舎へ還ろう戦略</b> 各地域ごと個性を活かして田園回帰戦略に取り組みます。 サテライト オフィス事例(徳島県神山町) 農ある暮らしの推進 ワーキングホリデー 空き家の活用	<b>テレワーク型の推進</b> 本社機能・研究開発型企業の誘致 地域経営事業者との協働 地域に根差した産業を支援 6次産業化の推進 農林産物ブランド構築 地域産材(遠山杉) 市田柿
--	--

## 飯田型ツーリズムの発展 地域による再生エネルギー活用

<b>飯田型ツーリズムの発展</b> サイクルツーリズム 農家民泊 体験教育旅行 南信州・飯田フィールドスタディ	<b>地域による再生エネルギー活用</b> 地域の豊富な再生エネルギー資源と地域の「結い」を活用して、低炭素で活力ある地域づくりを推進します。 おひさまファンド(おひさま進歩エネルギー) 小沢川1小水力発電建設(公民協働) おひさま発電所 地育力 LG(地域・地球)飯田学習 身近な地域から考え、地球規模で行動できる人材を育む
---	--